



注目度の高いイベントの創造と県の文化度の向上

主担当部局：地域振興部



ムジークフェストなら 2014

目指す姿

奈良の歴史文化の魅力や背景を分かりやすく伝えることや質の高い文化芸術イベントを実施することにより、文化力を高めるとともに、文化芸術への参加、鑑賞の機会を拡大し、活動の裾野拡大を図ります。また、文化資源を活用したにぎわいづくりによる地域活性化を進めます。



●平成28年度までに「芸術・文化」を行う県民の割合を

全国1位

にします。

(平成23年度：2位)

●文化資源を活用し、

**県内各地域の
にぎわい**

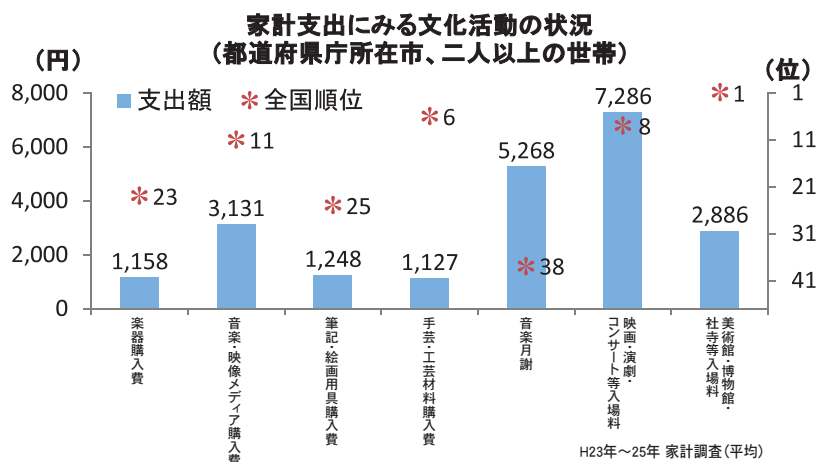
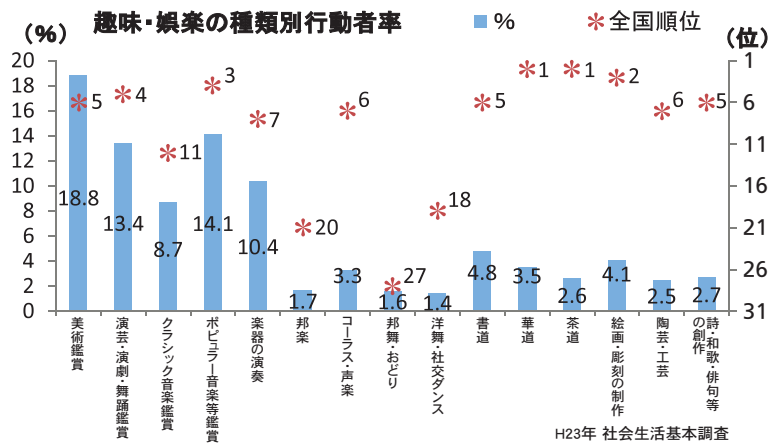
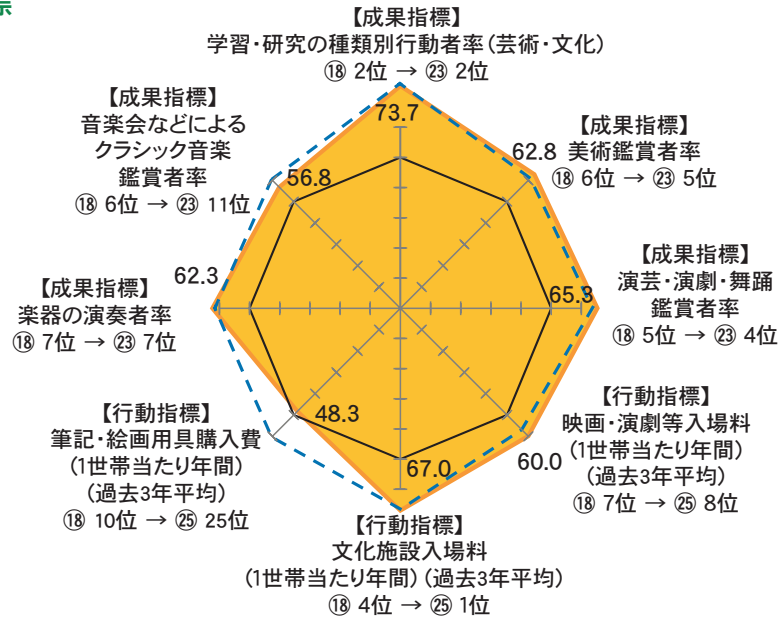
を創ります。

●奈良の歴史文化の情報発信や奈良らしい文化芸術イベントを実施し、県内外からの交流を活発にすることにより、

県内の
文化関連消費

を高めます。

■ 主な指標



- 文化施設入場料への支出(平成23～25年平均)の順位は上昇し、全国1位となりました。(平成16～18年平均: 4位)
- 映画・演劇等入場料への支出(平成23～25年平均)の順位は若干下落し、全国8位となりました。(平成16～18年平均: 7位)
- 筆記・絵画用具への支出(平成23～25年平均)の順位は下落し、全国25位となりました。(平成16～18年平均: 10位)

戦略1

質の高い文化芸術を活用して、奈良の文化力を向上します。

主担当課：地域振興部 文化振興課

戦略目標

- ▶ 伝統芸能など奈良が持っている質の高い文化資源を活用して、**奈良の文化力を高めます。**
- ▶ 奈良から世界で活躍するような**トップアーティストを輩出**します。
- ▶ 国内外で活躍しているアーティスト等を招聘し、**県内で上質な文化芸術催事を開催**します。
- ▶ 有識者の講演録など県が保有する**知的情報を広く県内外に発信**し、奈良のステータスを高めます。

取り組み

文化施策の方向性を明らかにし、文化振興ビジョンを策定

奈良だからこそできる音楽祭の開催

奈良の魅力を高め県民の参加の拡大を図る芸術祭の開催

上質な芸術文化に触れる機会の提供

未来のトップアーティストの育成

奈良県が保有する知的情報の発信



県立ジュニアオーケストラのコンサート



美術館特別展

工程表

項目	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
文化施策の方向性を明らかにし、文化振興ビジョンを策定				
◎「奈良県文化振興ビジョン」の策定	ビジョンの策定		ビジョンに基づき事業を実施	
奈良だからこそできる音楽祭の開催				
◎ムジークフェストならの開催	場所を拡大して開催		継続開催	
奈良の魅力を高め県民の参加の拡大を図る芸術祭の開催				
◎奈良県大芸術祭の開催	第1回実施	発展・拡充		国民文化祭をきっかけに発展
上質な芸術文化に触れる機会の提供				
◎県立美術館特別展の開催	現代アート展、大古事記展の開催	岡倉天心展、現代アート展等開催	魅力的な特別展を実施	
◎文化施設等（文化会館・橿原文化会館・万葉文化館等）でのコンサート、展示、美術展などの実施	様々なコンサートや展示等の自主事業を実施			
未来のトップアーティストの育成				
◎県立ジュニアオーケストラの活動	コンサートの開催、フルオーケストラ化の実施			
奈良県が保有する知的情報の発信				
◎有識者の講演録など県が保有する知的情報を広く県内外に発信	ジャーナル、インターネットによる情報発信			

戦略2

文化芸術への参加、鑑賞の機会を拡大し、活動の裾野の拡大を図ります。

主担当課：地域振興部 文化振興課

戦略目標

- ▶ 文化芸術活動の活発な県として、**県内外からの関心を高めます。**
- ▶ 老若男女の様々な層の文化芸術活動の活発化により、**県民の文化芸術に対する満足度を高めます。**
- ▶ 文化芸術への参加、鑑賞の機会を拡大し、**県民だれもが、県内各地で文化芸術に接する機会を創ります。**

取り組み

文化芸術団体や個人が行う発表の場の拡充

文化芸術団体等への支援の拡充・強化



県庁星空コンサート



ムジークフェストなら 2014



奈良県美術展覧会

工程表

項目	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
文化芸術団体や個人が行う発表の場の拡充				
◎奈良県大芸術祭での発表機会提供		様々な会場での発表の機会を提供		
◎ムジークフェストならでの発表機会提供		様々な会場での発表の機会を提供		
◎県庁星空コンサートの開催		発表の機会を提供		
◎奈良県美術展覧会の開催	場所を拡大して実施		実施	
◎国民文化祭・ならの開催		開催準備		開催
文化芸術団体等への支援の拡充・強化				
◎新たな文化活動チャレンジ補助金		対象を市町村にも拡大して実施		
◎奈良県大芸術祭での広報支援		広報支援		

戦略3

文化資源を活用したにぎわいづくりによる地域活性化を進めます。

主担当課：地域振興部 文化資源活用課

戦略目標

- ▶ 県内文化施設が有機的に連携するとともに、新たなイベントにより、**地域のにぎわい拠点**とします。
- ▶ 県内の社寺等をはじめ、地域の文化観光資源を活用した新しい文化芸術活動などにより**地域の文化価値を高め**ます。
- ▶ 地域の文化芸術活動を促進し、各地域を元気にする**文化芸術活動のリーダーを育成**します。
- ▶ 奈良の歴史展示を推進することにより、**奈良の歴史の魅力や文化の背景をわかりやく伝え**ます。
- ▶ 県内の古文書等を調査、整理し、広く県内外に公開することにより、**奈良の歴史的価値を高め**ます。

取り組み

県内文化施設が核となり、地域のにぎわいを創出

文化財を活用したまちづくりの支援

文化施設等の連携の強化

奈良らしい歴史展示の推進

県内古文書（庁中漫録）の翻刻、公開等及び人材養成の実施

古代歴史文化・考古学の研究の推進



フォーラム「自分の仕事を考える3日間」
(図書情報館)



民博ふるさとフェスタ
(民俗博物館)



飛鳥・奈良時代の「この日何の日？」



古代奈良の歴史
クイズ現地解説板

工程表

項目	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
県立文化施設が核となり、地域のにぎわいを創出				
◎地域の歴史や万葉集をはじめとした文化資源を活かしたイベント・展覧会等の開催によるにぎわいの創出（万葉文化館）	館にふさわしい民間主導型のイベントの開催	特別展 飛鳥と春日大社の宝物展の開催	魅力的な展覧会・講演会・四季を通じてのイベントの開催	
◎郷土のくらしの変遷等を理解する場の提供及び公園を活用した地域のにぎわいづくり（民俗博物館）	高校生以下無料化、ふるさとフェスタの開催	ふるさとフェスタの開催	生活用具等を通して奈良の伝統的な生活文化を伝える展示を実施	
◎情報発信の拠点として学びの場、交流の場を提供（図書情報館）	情報発信、活用支援の充実	10周年記念イベント等を契機として利用者の拡大	取り組みを検証し、改善等を実施	
文化財を活用したまちづくりの支援				
◎史跡等活用補助金により、文化財を活用したまちづくりに取り組む市町村を支援		市町村への補助事業の実施		
◎文化財を活用した世界遺産登録への取り組み支援		登録に向けた取り組みを支援		

文化施設等の連携の強化			
◎奈良ミュージアムの発行（年2回）		展示施設の概要・展示スケジュールの紹介	
◎文化施設パスポートの発行	内容の検討	パスポートの発行	対象施設の拡大
奈良らしい歴史展示の推進			
◎歴史人物ストーリーの情報発信	デジタルサイネージによる発信	映像作成等コンテンツ・ツールの展開・充実	
◎Q & A現地解説板の設置	仮設・検証	展示エリア（明日香村など）の拡大・本設置	
◎ハンズオン（体験学習）の実施	検討	レプリカ作成、ハンズオンの実施（富本銭・古代衣装など）	
県内古文書（庁中漫録）の翻刻、公開等及び人材養成の実施			
◎庁中漫録の翻刻及び古文書講座の充実化	ウェブ公開及び講座の新設	翻刻等の実施、人材養成及び情報発信の充実	
古代歴史文化・考古学の研究の推進			
◎古代歴史文化に関する共同研究事業	14県での協議会立ち上げ	研究会・中間研究報告会	シンポジウム等の開催

これまでの成果

梅雨の古都・奈良を彩る「**ミュージックフェスタなら2014**」（平成26年6月14日～29日）を開催し、**約8万3千人の来場者**を集めました。

奈良県大芸術祭を9月から11月まで開催し、さまざまな主催事業を実施するとともに、**約400催事の参加**があり、**延べ約97万人の方が参加**されました。

県立万葉文化館において「**にぎわいフェスタ万葉**」を季節ごとに実施し、開催されたイベントには**約1万6千人**（春～冬）が**来場**しました。

県立ジュニアオーケストラが「ミュージックフェスタなら2014」、「平城京天平祭」等に**多数出演**。奈良県大芸術祭のフィナーレイベント「**ならピ!**」では**フルオーケストラで出演**しました。

主な指標の動き

■よくなっている指標

ミュージックフェスタなら来場者数

約6万2千人 (平成25年度)  **約8万3千人** (平成26年度)

県内各地で開催されたコンサートでは、公演数の増加や大規模コンサートの実施により、約8万3千人に来場者が増加しました。

新たな文化活動チャレンジ補助金
応募団体数

23団体 (平成25年度)  **33団体** (平成26年度)

県内で活動する文化芸術団体等の新たな取り組みに対する補助金の応募が、積極的な広報により増加しました。

■変化が見られない指標、低下している指標

学習・研究の種類別行動者率
(芸術・文化)

15.0% (平成18年 全国2位)  **13.0%** (平成23年 全国2位)

全国順位は変わりませんが、学習・研究活動の中で芸術・文化を行う人の割合は低下したものの、比較的高い状況です。

音楽会などによるクラシック音楽鑑賞者率

10.1% (平成18年 全国6位)  **8.7%** (平成23年 全国11位)

全国順位は低下していますが、クラシック音楽鑑賞を行う人の割合は比較的高い状況です。